



2020.12.18

逆狩りの重要性

多くの人が知ってはいるけど、案外実行できない重要なテクニックに『逆狩り』があります。逆狩りがもっとも有効なのは相手が5-3フィットしていて、3枚の方でラフしなければいけない時です。これはビッド経過を良く聞いていて、オープニングリードからしないと有効でないことが多いのです。ダミーを見てから逆刈りしたのでは遅れを取ることが多いと心得ていなければなりません。また5-3フィットだけでなく5-4フィットしている時でも有効な場合も少なくありません。あるハンドですが

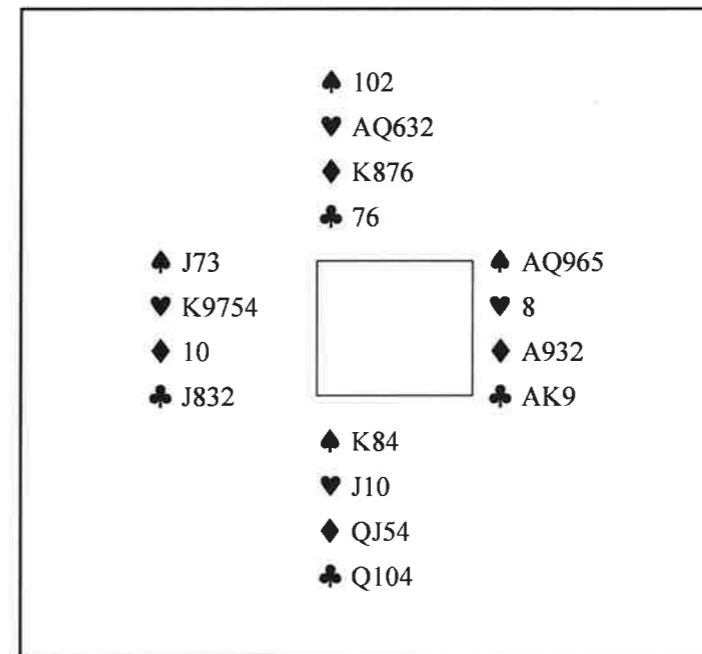
♠ K84 ♥ J108 ♦ QJ54 ♣ Q104

を持っていて、ビッドは自分の右から1S、左は2Sレイズします。するとオープナーは3Dとヘルプスーツゲームトライをします。レスポンドは4Sでゲーム・アクセプトしました。こちらがオープニングリードになりました。相手のトランプはどうも5-3フィットの様に思えます。ディクレアラーはダイヤモンドにルーザーがある、それがカバー出来ないかと聞いて、レスポンドがカバー出来ます、あるいは全体が強いと言ったのでしよう。どのようなカバーができるのか判りませんが、もしラフでカバーするのなら、それはダミーがシングルトンかダブルトンの可能性があります。だから逆狩りが有効そうです。だからトランプリードします。トランプをAかKを含む3枚持っている時の定石はxからリードして、次にA、xと狩ることですし、Kならば次の機会にパートナーから出してもらってKが取ればまたxを出すことです。だからオープニングリードにKの下からトランプxを出してみます。ダミーは

♠ J73 ♥ K9754 ♦ 10 ♣ J832

でした。パートナーはS10をフォロー、ディクレアラーはSQで取って、♦Aを取ってから♦2をダミーでラフします。そのあと♣を引いて、ハンドの♣Aで勝ち♦3をダミー最後のトランプ♠Jでラフします。次いで♣を引いてハンドのKで上がりますが♣Qは落ちません。これで♠1♥1♦1♣1ルーザーづつ出るので1ダウンです。そのほかのリード、例えばHJをリードしてもそれは取れます。そこから逆狩りすれば良いのですが、それは少し困難でしょう。でも怠るとメークされてしまいます。

全部のハンドは次頁のようになっていました：



4Sをメークするためにはダミーでダイヤモンドを3枚ラフすることが必要です。トランプリードでそれが不可能になります。トランプ以外のリード、例えばHJならばそれは取れますが、そこで逆刈りをしないと♦を3ラフされてしまいます。するとディフェンスは♠1♥1♣1トリックしか取れませんかから4メークとなってしまいます。

なお別なラインもあり得ます：トランプリードされてハンドのSQで取り、ハートを出すこと

です。でもSからHJが出るのでダミーでHKを出しますが、HAで取られてしまいます。ここで逆狩りをさらにされると簡単にダウンしますが、NがSAを上げてパートナーのHJを見て、シングルトンと思いSQを取ろうとしますとWにラフされてダミーのハートがエスタブリッシュしてしまいます。そこでS6をハンドから出されるとSKを上げらざるを得ずDQを出すとDAに取られ、SJでダミーに入られてH97を取られてメークされます。